



仕事の紹介

◆人の移動を変えるために◆

沖縄県はマイカー依存が進んでおり、浦添市も例外ではありません。浦添市では公共交通分担率が3.6%（H18時点）となっており、これは仮に1000人が移動した場合、36人しか公共交通を利用しないということです。

マイカー依存からの脱却は公共交通の維持、交通渋滞解消の面でも重要な課題です。

そこで、浦添市では、あらゆる人が利用しやすい交通環境の実現へ向け、利用しやすい公共交通機関や交通制度の導入を図ることにより、公共交通利用を推進しています。その取組みとして、現在、市内を運行するコミュニティバスの導入や、駐輪場（ステーション）間でレンタル可能なシェアサイクルの導入などを進めています。



コミュニティバス「うらちゃんmini」



シェアサイクル事業

◆未来へ向けた人材育成◆

小学生向けに交通環境学習（モビリティ・マネジメント）を行うことで、将来、車や公共交通をバランスよく利用できる人材の育成へ向けた事業を実施しています。市内小学校での授業カリキュラムへの導入を目指しています。



Message

土木といえば道路や橋梁などの構造物を作るイメージが強いと思いますが、都市計画課では市の将来像を定め、まちづくり全体の計画に関わっています。地域の方々との協同で行うまちづくりはやりがいのある仕事ですので、みなさんも是非一緒に働いてみませんか？



公共交通は

「みんなのひと乗り」

が大切です！

新城 裕也

浦添高校 / 琉球大学卒